

## 最高水準の精神科医療の提供を目指して

～北の大地から、今こそメンタルヘルスの礎を！～

精神科 副医長 **上村 恵一**

市立札幌病院精神科は、平成 24 年 4 月に全国で 9 番目の精神科救急併症入院料算定施設として稼働しました。当該病棟は精神科救急入院体制を 24 時間維持し、身体合併症にも対応するという、最も取得が困難な施設基準であり、もっとも高い特定入院料診療報酬を算定できる病棟です。

平成 28 年度はさらに、これまで取得してきた精神科リエゾンチーム加算に加えて認知症ケア加算を取得、さらに救急患者精神科継続支援料の取得を目指しています。前者は増加の一途をたどる認知症入院患者が退院までの ADL の低下を最小限に止め、目的の急性期治療を終えてもとの環境に戻ってもらえるように支援する多職種支援チームです。後者は、自殺企図後の患者の再企図を防止するための多職種支援チームに対する診療報酬です。当科の医師、看護師、心理士、精神保健福祉士の複数が自殺予防対策研修会の受講を修了し体制準備を整えています（平成 28 年 8 月算定予定）。

そして今年度精神科最大のイベントが、9 月 23 日・24 日、札幌コンベンションセンターで開催予定の第 29 回日本サイコオンコロジー学会総会です。がんの心のケアについての本学会は現在、準備の佳境に入っております。多くの学会内外の関係者の皆様の多大なるご尽力、ご支援により、多職種 3,000 名参加の大会実現へ機運が高まっております。

大会テーマ「今こそ、メンタルヘルスの礎を。」を掲げ、心のケアがすべての医療従事者の関心事となり、からだと心のケアが一体で行われることが常識となる社会の実現をめざし、サイコオンコロジー最前線の専門的プログラムに加え、初心者向け、多職種向けのプログラム等を数多く用意しました。



### プログラムより

- はじめてのサイコオンコロジー
- 北日本のがん拠点病院のこころのケアをどうするか
- 意思決定を支える一多職種・多面的取組み
- それって本当にせん妄ですか？～鑑別に少し迷う病態の見分け方
- 看護師による“がん患者の心理的不安を軽減するための面接”を考える
- コミュニケーションや関係構築に難しさを感じる患者へのアプローチ～発達障害の観点から～
- がん患者への行動活性化療法
- 小児がんサバイバーの発達課題と成長
- サイコオンコロジーにおけるポリファーマシーを考える

これまで諸先輩方が築き上げてこられた、サイコオンコロジーの優れた知見、経験を、職種の垣根なく広く伝えていくことが、最年少で大会長を拝命した私のミッションと考えております。第 29 回大会の目標、多職種 3000 名の参加の達成には、皆様のご協力が不可欠でございます。

ぜひ、地域連携機関皆様のご参加とともに、あらゆる機会をとらえ、大会への参加を呼び掛けて頂きますよう、宜しくお願いいたします。医師以外の方のご参加に対して、事前登録限定で 2,000 円割引とする、多職種優待キャンペーンを決定いたしました。また、ファミリーでのご参加を歓迎し、託児所はもちろん、お子様連れで休憩できる女性サロンを用意します。お茶とお菓子でくつろぎながら交流、女性の医療従事者がサイコオンコロジーの専門家となるキャリアパスの情報提供ブースも設けます。

学びの秋の札幌コンベンションセンターで皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

♪多職種優待キャンペーン 医師以外の方の参加費 2000 円 OFF♪

事前登録者限定  
8/9(水) 締切!

◆お待ちしております◆

看護師、心理士、薬剤師、ソーシャルワーカー、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保健師等